

2022 年度 事業計画書

(全編)



Koyama healthcare group

湖山医療福祉グループ



社会福祉法人 大和会

2022年度 大和会 事業計画（案）

- 2021年1月に発生した和光園における新型コロナウイルスクラスターにつきましては、全国のグループ法人の皆様の温かいご支援により、3月15日に収束。
- しかしながら年度初めの4月に入ってから陽性者が散発的に発生し、和光園再生計画の5月末で満床はかなわず、7月まで影響を引きずることとなりました。
- 新型コロナウイルス感染症拡大はご利用者、ご家族、職員の生命を脅かし、かつ経営を圧迫する負のファクターであり、まずは「施設にウイルスを持ち込まない」ことを念頭に、「感染症に強い組織」を構築する。
- 2022年9月には東京都新宿区市谷薬王寺町43-1に「特別養護老人ホーム新宿和光園」を法人高齢者施設として25年ぶりとなる新規オープンを迎える。法人の総力を挙げて立ち上げに挑み、早期安定経営を推進する。
- その法人総合力を高めるため、法人組織の改革を実施。システム類を湖山医療福祉グループと標準化し、グループの一員としてしっかりと経営基盤を固めてゆく

グループ共通理念と法人理念

グループ共通理念 自らが受けたいと思う医療と福祉の創造

法人理念 人権の尊重を礎に、和の精神と人間愛、愛と共生を
共通理念とし、生命の源である「食」を重視した
事業活動を推進する。

経営方針 個を大切にし、心を満たす医療・福祉の実現
よろこびと感動の共有
地域社会との対話と交歓
安定と健全な発展
誇れる職場の創設

法人重点推進事項

【人材確保と育成・法人のPR】

【経営基盤の確立】

【法人組織イノベーション】

【地域交流・新たなスタートへ】

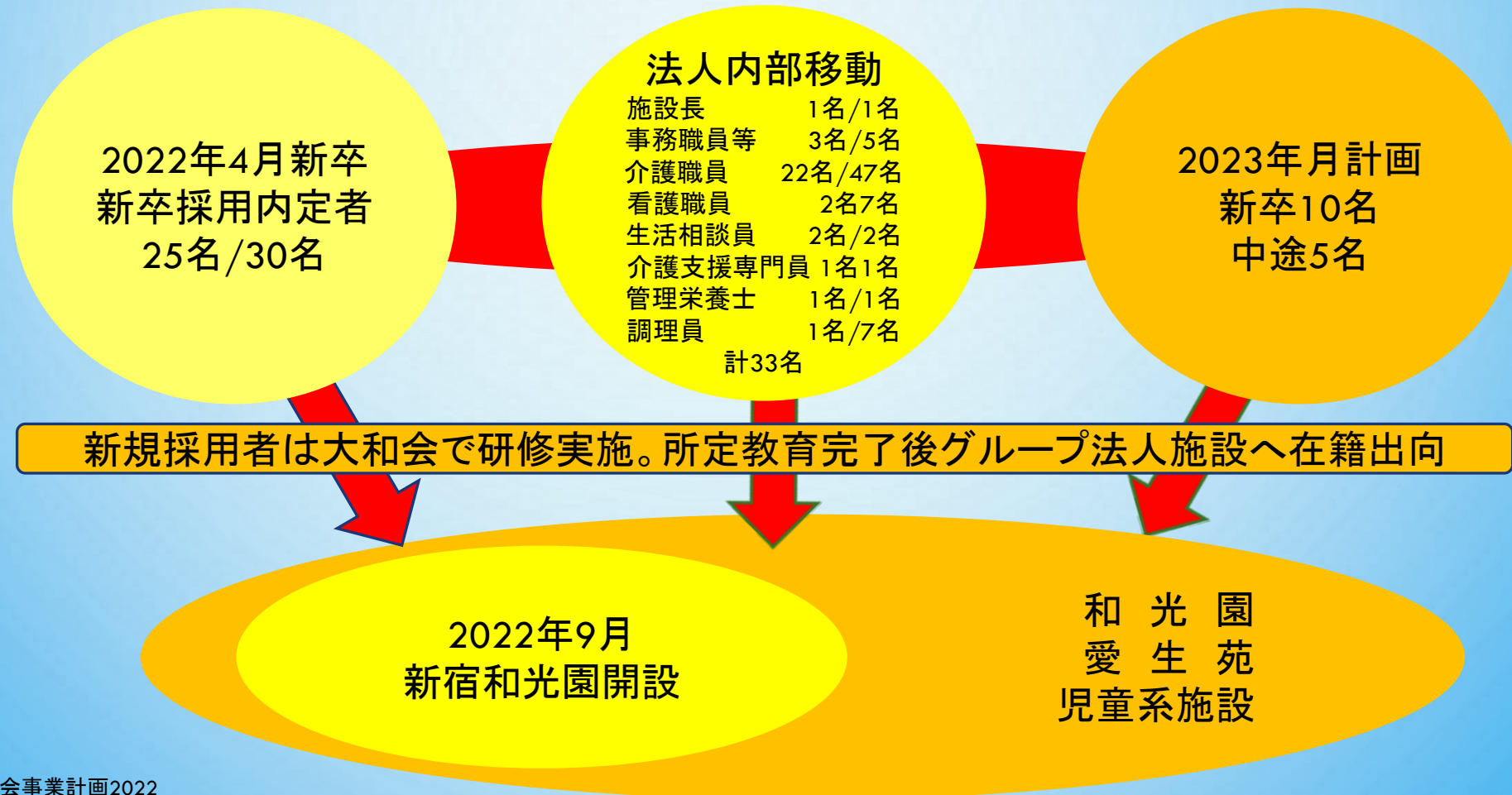
【人材確保と育成・法人のPR】

1. 職員個々の成長と幹部職員の育成・輩出
2. 食の大和会による施策・広報活動の強化



2022採用計画

- 年間目標人数に基づいた採用
- 新宿和光園開設準備人員の計画採用



2022新人育成計画

令和4年度大和会新人介護職員育成計画

育成目標(ゴール)	・大和会職員として法人の理念を理解し、良質なケアサービスを提供できる人材を育成する ・合理的、効率的な育成手法にて、新規施設開設(9月)までに常勤職員に求められるスキルの獲得を目指す
新人職員数(令和4年3月1日現在):19名 配属先内訳:和光園4名・愛生苑3名・新宿和光園10名・その他(法人本部等)2名 (新宿組10名 + 法人本部等2名は、それぞれ和光園、愛生苑に分かれて育成する(別紙参照))	

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
和光園	<p>(理念・方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湖山グループの行動指針 ・大和会の理念・職業倫理 ・大和会のチームケア ・社会福祉法人の役割 他 <p>(法律・規則)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大和会の就業規則 ・大和会のコンプライアンス ・身体拘束適正化の理念 ・高齢者虐待防止法 他 <p>(姿勢・サービスマナー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大和会職員の基本姿勢 ・大和会職員のサービスマナー ・挨拶の重要性 ・体調管理 他 <p>(法定研修)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症の理解 	<p><出来ること></p> <p>食事介助、排泄介助、移乗介助等基本介護技術(プリセプター指導の下実践)</p> <p><知っていること></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的介護について(産学のフォローアップ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日勤帯基本介護業務 ・夜勤業務(プリセプター指導) 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜勤業務(自立目標) 	<p>居室担当業務</p> <p>アセスメント作成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・座学フォローアップ研修 ・目標管理シート(半期評価) ・個別指導方針の見直し ・職員意向調査(前記) ・メンタルサポート
		<p><出来ること></p> <p>食事介助、車いす操作、移動・移乗、シーツ交換、入浴介助、排泄介助、体位交換(サポート有)</p> <p><知っていること></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護用語 ・食事形態 ・排便性状 ・嚥下の仕組み ・認知症の理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボディメカニクス ・褥瘡(皮膚疾患) ・緊急時対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・責任番業務 ・夜勤業務(プリセプター指導) 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜勤業務(自立目標) <p>アセスメント作成</p>	
愛生苑						
新宿和光園	<p>(法定研修)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症の理解 <p>力量評価 目標管理シート (個別面談)</p>	上記に進ずる		<p>(建物引き渡し後)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務オペレーション ・施設内ルール、規則確認 ・介護機器動作習得 ・各課連携(情報共有) ・緊急時対応(地震・火災等) <p>(産学フォローアップ研修)</p>	<p><出来ること></p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜勤業務(プロセプター指導) <p>* 出向先での業務体験含む</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夜勤業務(自立目標)
		<p>(法定研修)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束、高齢者虐待 ・褥瘡のメカニズム 	<p>6月リフレッシュ研修 (全新人職員対象)</p>			

その他	<p>(注1):プリセプター(指導担当者)→各拠点ごと「プリセプター育成研修」実施 *プリセプターが孤立しないよう主任、リーダー層職員がフォロー</p> <p>(注2):四半期ごと(6・9・12・3月)に「状況報告会」を開催(課長・主任)</p> <p>(注3):「新人職員相談窓口」を設置(別途)</p>
-----	---

【経営基盤の確立】

1. 既存施設老朽化への対応、
建替計画、事業拡大への取組
2. 新型コロナウイルス・災害対策
3. 法人共同購入・業者選定による
コストダウン

中長期経営計画の骨子

○新規事業展開

【高齢系】令和4年9月、新宿区市谷薬王寺「新宿和光園」開設予定

その他、都内特別養護老人ホームの公募申請を並行して実施。

【児童系】やまと保育園のサテライト化検討（駅周辺の開発に合わせた市場移動）

多摩市及び近隣市等における新規認可保育所等の公募申請を行う。

多摩市近隣の学童クラブ民間委託等の公募申請を行う。

○既存施設の建替

【高齢系】老朽化した和光園・和光園ケアセンターの建替を行う。（5~10年前後を目安として）

和光園建替タイミングに合わせ、愛生苑・ケアハウスの延命修繕の実施。

【児童系】老朽化したやまと保育園の移転建替えを行う。（2~5年後を目安として）

○既存施設の改修・リニューアル

【共通】 建替までの修繕についてアイム(株)よりコンサルティングを受け、適切な改修を実行する。

新規事業展開

○ 特別養護老人ホーム新宿和光園（令和4年9月開設予定）

住所：東京都新宿区市ヶ谷薬王寺町43-1 特別養護老人ホーム 12名／1ユニット 地上4階建て
1フロア2ユニット×4F 定員 96名（うちショート12名）

令和4年度

建設工事 ～令和4年6月末竣工予定

施設整備補助金交付申請（東京都及び新宿区）

開設前準備経費補助金交付申請（東京都）

賃料補助交付申請（当初5年間・東京都）

開設準備室（新宿御苑）職員採用・建設事務所

既存施設職員の在籍出向

○ その他継続して新規事業を推進します。



都内特別養護老人ホームの事業展開と 多摩市周辺における児童系施設の展開

グループ施設との連携強化推進



感染症・大規模災害対策

- **新型コロナウイルス等感染症対策**

- ①アボット検査機器他備蓄の見直し
- ②新型コロナウイルス 対応マニュアルの改訂
- ③首都圏グループ法人施設との連携強化

- **事業継続計画の見直し**

- ①震災時対策の見直し、KERT車両の導入検討
- ②風水害対策及び避難計画の策定
- ③BCP検証訓練の実施

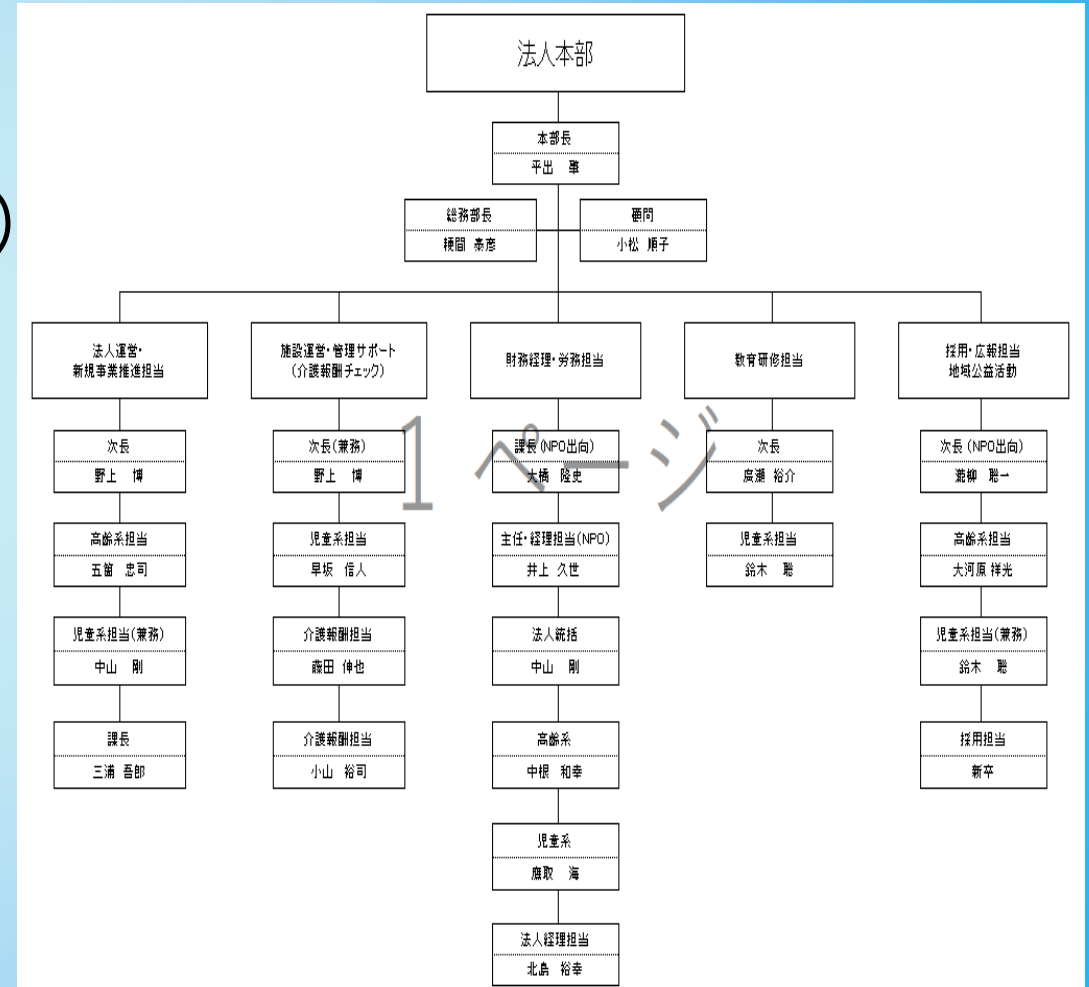
- **自治体・地域との防災連携強化**

- ①地域・自治体合同防災訓練の実施
- ②福祉避難所の周知及び協力要請



【法人組織イノベーション】

1. 法人本部体制の確立
(財務・労務・採用教育機能他)
2. 首都圏法人施設との連携
及び標準化
3. 給与体系、人事評価
制度の改革



【地域交流・新たなスタートへ】

1. コロナ禍に適応したニーズの把握、 関係性の構築、地域公益活動の実施



2022年度 予算

	定員	事業活動収入	事業活動支出	事業活動収支 差額	資金収支差額
本部		643	20,213	▲19,570	▲19,070
愛生苑	80名	384,202	375,088	9,114	▲2,017
愛生苑ケアハウス	16名	36,289	34,039	2,250	7,106
和光園	134名	844,899	815,551	29,348	22,359
やまと保育園	100名	212,151	199,213	12,938	2,250
やまとさくら保育園	60名	174,762	165,124	9,638	7,378
第二小学童クラブ	135名	73,280	71,524	1,756	656
和光園診療所		16,923	15,556	1,367	67
新宿和光園 (9月開設)	96名	238,298	325,957	▲87,659	▲82,478
合計		1,982,342	2,022,857	-40,818	-63,749



拠点別事業計画

1. 愛生苑
2. 愛生苑ケアハウス
3. 和光園
4. 新宿和光園
5. やまと保育園
6. やまとさくら保育園
7. 多摩市第二小学童クラブ



愛 生 苑



【職員個々の成長と育成】

1. 「やさしさとあたたか」を提供できる人材を育てる
2. 自ら専門技術・知識を身に付けられる人材を育てる
3. 幅広い視野を持ち、問題解決・マネジメント調整ができる人材を育てる

【運営基盤の確立】

1. 食の愛生苑によるイベント・施策を企画実施
2. 施設老朽化への対応
3. 整理整頓、清掃の行き届く古くてもきれいな施設へ
4. 新型コロナウイルスを持ち込まない
5. 各専門委員会・勉強会の確実な実施、全課職員による参加

愛 生 苑

単位：千円

【予算】

	計 画	前年計画	差
事業活動収入	384,202	380,344	3,858
事業活動支出	375,088	367,476	7,612
事業活動収支差額	9,114	12,868	▲3,754
施設整備等収支	▲8,107	▲28,522	▲20,415
その他収支	▲3,024	▲10,165	▲7,141
当期資金収支差額	▲2,017	▲25,819	▲23,802
稼働率	97.5%	97.5%	

収入面 稼働率97.5% 新規加算の算定 コロナ渦での安全な入所調整

支出面 人件費 新規事業人員確保・調整、研修教育 ボイラーリニューアル

経費節減策 通信費整理、職員駐車場を施設借り上げによるシェアリング

愛生苑ケアハウス



【職員個々の成長と育成】

1. 「やさしさとあたたか」を提供できる人材を育てる
2. 自ら専門技術・知識を身に付けられる人材を育てる
3. 幅広い視野を持ち、問題解決・マネジメント調整ができる人材を育てる

【運営基盤の確立】

1. 食の愛生苑によるイベント・施策を企画実施
2. 施設老朽化への対応
3. 整理整頓、清掃の行き届く古くてもきれいな施設へ
4. 新型コロナウイルスを持ち込まない

愛生苑ケアハウス

単位：千円

【予算】

	計 画	前年計画	差
事業活動収入	36,289	37,564	▲1,275
事業活動支出	34,039	39,792	▲5,753
事業活動収支差額	2,250	▲2,228	▲4,478
施設整備等収支	▲1,680	▲5,156	▲3,476
その他収支	6,536	8,572	▲2,036
当期資金収支差額	7,106	1,188	5,918
稼働率	98.5%	100.0%	

収入面 待機者増大策(地区食事会にてチラシ頒布)特別加算申請 他

支出面 人件費 人材の流動化による紹介手数料の削減

経費節減策 通信費整理、職員駐車場を施設借り上げによるシェアリング

和光園



【新しいことに挑戦し、成長する～スマイルチャレンジ～】

○人材確保と育成、法人のPR

1. 新人・中途職員の研修計画策定と実施
2. 外部研修参加機会の確保
3. トライアルの実施
4. 食を大切にしたい企画実施
5. 広報活動の強化

○経営基盤の確立

1. 施設内外の整備
2. 施設間での情報共有
3. 感染症・災害BCPの策定見直し
4. 法人共同購入・業者選定によるコストダウン

○法人組織イノベーション

1. 本部機能を担う職員の育成
2. 首都圏法人施設との人事交流
3. 人事評価制度の改革
4. 法人内ルールの統一への取り組み

○地域と新たな再出発

1. コロナ禍に適應した新たなボランティア・実習生の受入
2. 地域公益活動の計画実施

和 光 園

【予算】

	計 画	前年計画	差
事業活動収入	844,899	786,237	58,662
事業活動支出	815,551	778,359	37,192
事業活動収支差額	29,348	7,878	▲6,911
施設整備等収支	▲8,489	▲7,021	▲15,510
その他収支	4,500	5,712	▲1,212
当期資金収支差額	22,359	3,569	18,790
稼働率	98.0	98.0	

収入面 稼働率 特養 98.0 %、一般デイ 80 %・認知症デイ 55

入所・在宅サービス営業強化及び認知症デイ定員増(12名)コロナ予防対策、待機者精査

支出面 人件費 人材の流動化による紹介手数料の削減 派遣職員の適正化

経費節減策 法人間共同購入の推進・予算管理の徹底

新宿和光園(9月1日開設)



【重点推進事項】

○人材確保と育成・法人のPR

- ア) 新卒・中途採用者の集合教育を既存施設で実施。グループ及び法人理念の周知徹底を図る
- イ) 開設1カ月前を目途に、目標採用数の確保に向けて広報宣伝を強化する
- ウ) 法人間異動者など世代交代を見据えた幹部職員候補の人材育成を推進する。

○経営基盤の確立

- ア) 明確な運営目標の設定(2週間で特養86床満床、当月中にショートステイ12床についても軌道に乗せる)
- イ) 自治体・医療機関・地域住民とのコミュニケーションをとり、顔の見える関係性づくりを推進する
- ウ) 新型コロナウイルス対策としての対応マニュアルの策定及び実地訓練の実施

○法人組織イノベーション

- ア) 法人本部機能構築の一員として能動的に行動する
- イ) 首都圏法人施設と連携し、開設時における相互支援体制を構築する
- ウ) 各種諸規程・書式等の法人統一化を推進する

○地域交流・新たなスタートへ

- ア) 感染症対策のもと、地域住民の皆様との積極的な交流を図る
- イ) 防災対応型地域交流スペース、かまどベンチ、井戸(設置検討中)等を活用した合同訓練の実施

新宿和光園(9月1日開設)

単位:千円

【予算】

	計 画		
事業活動収入	238,298		
事業活動支出	325,957		
事業活動収支差額	▲87,659		
施設整備等収支	6,681		
その他収支	▲1,500		
当期資金収支差額	▲82,478		
稼働率	53.3%(通年)		

収入面 稼働率 9月70% 10月以降95%

開設後2週間で特養部分満床、月内に短期入所も95%まで稼働を向上

10月以降単月での黒字化を目指し活動する。

やまと保育園



【重点推進事項】

○人材確保と育成・法人のPR

- ア) キャリアアップ制度による職位職責の明確化と人材育成の仕組みを構築する。
- イ) 個人別年間研修計画の作成と面談の徹底、適切な研修受講を促し、個人の目標を明確化する。
- ウ) 世代交代を見据えた幹部職員候補の人材育成を推進する。
- エ) SNSを活用した保育や食育を発信する。

○経営基盤の確立

- ア) 移転建替計画及び中長期修繕計画の策定。
- イ) 必要箇所の迅速な修繕。整理整頓・清掃を強化し、古くても手を掛けた施設を心掛ける。
- ウ) 危機管理マニュアルの見直し。災害想定訓練及び風水害対策の整備。
- エ) 感染対策を強化しつつ事業内容を見直し、対外的な社会貢献事業を復活していく。
- オ) 法人共同購入によるコストダウンを推進する。

○法人組織イノベーション

- ア) 大和会の職員として意識をもち、拠点間の連携を強化する。
- イ) PCAソフト導入の標準化
- ウ) 各種諸規程・書式等を法人統一化

○地域交流・新たなスタートへ

- ア) 地域イベント・地域子育て講座などを感染防止を意識した新たな取り組みを推進する。
- イ) 離乳食講習会や妊婦体験など地域の新たなニーズに対応した新サービスを積極的に開拓し実行する。

○利用者サービスの充実化

- ア) 我が子を預けたいと思う保育の創造を目指し、保育の共有化及び標準化を推進する。
- イ) 新たな保育ニーズに対応した保育サービスの検証と拡充。

やまと保育園

単位：千円

【予算】

	計 画	前年計画	差
事業活動収入	212,151	191,936	20,215
事業活動支出	199,213	184,375	14,838
事業活動収支差額	12,938	7,561	5,377
施設整備等収支	▲1,000	▲3,186	2,186
その他収支	▲8,272	▲2,448	▲5,824
当期資金収支差額	2,250	0	2,250
稼働率	93.4	90.0	3.4

収入面 稼働率93.4% 園児獲得を目的に施設見学や行事参加の積極的な呼びかけ。

支出面 人件費 業務を見直し、スリム化を推進する。

経費節減策 法人間共同購入の推進。予算管理の徹底。

やまとさくら保育園



【重点推進事項】

○ 育成の推進

- 1・明確な育成プランを立て、基礎をしっかりと固め、職員育成を行う。
 - ア) キャリアアップ制度による職位職責の明確化と人材育成の仕組み
 - イ) 自己評価シートの作成、事前事後面談の徹底、能力に応じた適切な研修受講、園内での勉強会の実施
- 2・全職員が徹底した共通認識を持てるように認識レベルの把握に努める
- 3・職員、保護者、地域など自分が求められている部分は何なのか？を明確にし、自分がすべき事項を明確にする

○ 利用者サービスの充実化

- 1・我が子を預けたいと思う保育を目指し、保育の共有化及び標準化を推進する
- 2・コロナ過での新たな保育ニーズに対応した保育サービスの実施

○ 地域事業への参加・推進

- 1・地域イベント・地域子育て講座などを積極的に推進し、子育ての専門性を地域に還元し、地域の子育て拠点の役割を担う
- 2・健康センター、複数の地域農家とタイアップして地域の新たなニーズに対応した新サービスを開拓し実行する
- 3・SNSを積極的に活用し、地域との交流の土台を構築する

○ 大規模災害・感染症に対するリスクへの取組

- 1・危機管理マニュアルの見直し。災害想定訓練及び風水害対策の整備
- 2・感染症マニュアルの見直し。感染症防止策を講じた事業の見直し

やまとさくら保育園

【予算】

単位：千円

	計 画	前年計画	差
事業活動収入	174,762	170,279	▲4,483
事業活動支出	165,124	160,984	▲4,140
事業活動収支差額	9,638	9,295	▲343
施設整備等収支	▲200	▲353	153
その他収支	1,320	1,306	▲14
当期資金収支差額	7,378	7,096	282
稼働率	100%	90%	

収入面： 稼働率 100% 定員60/60

支出面： 備品等の計画的な購入による施設整備の充実を図る

再雇用者などを含めた人件費のコントロール

経費節減策： 法人間業者共同購入の推進。予算、備品管理の徹底

多摩市第二小学童クラブ



【重点推進事項】

○ 人材確保と育成。法人のPR

ア) 世代交代を見据えた若手・コア人材の育成・・・若手職員の成長・活躍の場を設ける。職員の業務分掌に基づいての育成の実施

イ) HPでの学童クラブでの活動・「食の大和会」のPRを積極的に行う。

○ 学童クラブの運営について、新規事業について

テレワーク等の保護者の就業形態の変化に伴い、今後の児童の申請数増減の見極め・対応してゆく
今年度も多摩市と協議し第二の2のエアコンの不具合の改善、必要な機器・備品等については市とその都度折衝し 整えてゆく。

近隣市のHPを随時チェックし動向を伺い、学童クラブ拠点を増やす取り組みを行う。

地域ニーズに対応した「放課後子ども教室」の実施の検討。

○ 経営基盤の確立・法人組織イノベーション

ア) 児童系で給与形態を合わせる。委託費人件費積算根拠に基づいた適正人員の配置見直しの実施。

イ) 法人共同購入・業者選定によるコストダウンの実施。

ウ) 法人共同での新型コロナウイルス・災害対策

大規模自然災害を想定しての職員・児童の訓練の定期的な実施。備蓄等の確保の推進。

現況に合わせた災害対応マニュアル、感染症マニュアルの見直しの実施。

○ 地域との新たな再出発

法人内の公益活動及び、多摩第二小学校の行事や青少協、PTCA、おやじの会等の地域活動や東寺方児童館、図書館、老人福祉館、和田コミセン、見方の森との交流を図り、行事等に積極的に参加し「withコロナ」の中でも継続した関係性の再構築を推進する。

多摩市第二小学童クラブ

【予算】

単位：千円

	計 画	前年計画	差
事業活動収入	73,280	72,924	873
事業活動支出	71,524	71,685	▲161
事業活動収支差額	1,756	1,239	517
施設整備等収支	▲200	0	200
その他収支	▲500	▲20,361	▲19,861
当期資金収支差額	656	▲19,122	18,456
稼働率	95.5%	95.5%	

収入面 定員135名 現時点での空児童数 6名 HP等で学童クラブのPRの実施

支出面 人件費 委託費に基づいて適正な人員配置の実施

経費節減策 法人間共同購入の推進

ご清聴ありがとうございました。



Kayama healthcare group

湖山医療福祉グループ



社会福祉法人 大和会